

健康支援と社会保障 ①

健康と社会・生活

電子版あり

●B5判 224頁 カラー 定価2,970円（本体2,700円＋税10%）
ISBN978-4-8404-8157-1 第6版 2024年1月

本書の内容

- 大きく変動する現代社会のなかで、患者の生活を理解するためには看護職としての「ビジョン」が必須であることが強く意識できる1冊です。健康教育などで重要となる社会的な健康、科学からとらえた健康行動についての解説も充実しています。
- 学生自身を含めた「個人の生活」から、集団・組織、家族、地域社会、国際社会へと、円を大きくするように視点を広げていきます。教科書を学び終わるころには、人の生活について、その人を取り巻く周辺の環境・社会全体まで含めて考えられるようになることを目指した構成となっています。
- 第7章・第11章で、人々の生活・健康と切り離せない経済状況（健康格差）、労働環境、情報行動について解説します。11章では、情報技術の発展による受診・療養環境の変化にも焦点をあて、患者の生活を紹介しています。
- 対立や葛藤、紛争といったコンフリクトを、協調、協働へと発展させる方法や提案を第4章「個人および集団における対立と協働」で解説しています。
- 第12章には、生殖医療技術や遺伝子診断、再生医療、そして臓器移植と延命治療という、生命科学の進展により新たに登場した技術と人間性の調和を考えるページを収載しています。

編集

平野かよ子 宮崎県立看護大学名誉教授、湘南鎌倉医療大学特任教授
本多 敏明 淑徳大学コミュニティ政策学部教授

松宮 朝 愛知県立大学教育福祉学部教授

執筆（掲載順）

平野かよ子 宮崎県立看護大学名誉教授、湘南鎌倉医療大学特任教授
＜序章、第1・2・6・7節、5章＞
本多 敏明 淑徳大学コミュニティ政策学部教授＜1章＞
朝倉 隆司 滋賀医科大学大学院看護学専攻グローバル連携看護学特別教授
＜2章3～5節、7章＞
西脇 暢子 日本大学経済学部教授＜3章1～3節＞
佐藤 俊一 NPO法人スピリチュアルケア研究会ちば理事長＜3章4節＞
石原 明子 熊本大学大学院人文社会科学部准教授＜4章＞
島内 憲夫 広島国際大学客員教授、順天堂大学名誉教授＜6章1～4節＞廣水 乃生 茨城キリスト教大学文学部児童教育学科児童教育コース兼任講
師、特定非営利活動法人友部 commons 共同代表、ASD 株式会社
代表理事＜6章5～7節＞
青柳 涼子 淑徳大学コミュニティ政策学部教授＜8章1～3節＞
森川 夏乃 愛知県立大学教育福祉学部准教授＜8章4～6節＞
松宮 朝 愛知県立大学教育福祉学部教授＜9章＞
明石 純一 筑波大学人文社会系教授＜10章1～6節＞
田代 順子 聖路加国際大学名誉教授＜10章7節＞
濱 雄亮 東京交通短期大学運輸科教授＜11章＞
小林亜津子 北里大学一般教育部教授＜12章＞

目次

序章●看護と生活・社会と社会保障

健康・社会を念頭に置いたしくみの再構築／これから看護職を目指す者への期待

第1部●社会と生活者

第1章●社会

「社会」を学ぶのは現場でのより良い実践のため／社会の構造を理解する／社会現象の機能を理解する／戦後の日本社会の諸特徴／現代社会はどのような社会か／現代社会の課題に看護はどう対応するか

第2章●生活と生活者

日常生活と日常性／多面的な日常生活のとらえ方／生活の諸相と生活の理論／QOL／ライフスタイル・ライフコース・ライフステージ／対象者の生活の理解と把握／保健医療専門職の生活をとらえる姿勢

第3章●集団・組織

構成員としての個人／集団／組織／これからの集団と組織／病院組織

第4章●個人および集団における対立と協働

さまざまなレベルでの対立・葛藤・紛争：コンフリクト／なぜ対立や葛藤（コンフリクト）は起きるのか／対立から協働へ：建設的な対立・葛藤解決の方法／さまざまな対話の方法／保健・医療・福祉の現場におけるコンフリクト

第2部●健康

第5章●社会的な健康

健康とは：WHOの健康の定義／社会的健康とは／人々の安全・安寧が保障される社会

第6章●科学からとらえた健康行動：ヘルスプロモーション時代の中で
ヘルスプロモーション時代の到来／行動科学とは／行動の理解を助ける基本理論とモデル／健康行動の理解を助ける理論とモデル／集団の中での人の行動特性／保健・医療領域にみられる小集団の特徴：機能・効用／集団の形成と発展過程シラバス・
授業計画案

詳細はP.132へ

動画
10本
収録1
頁ワークシートや設問で
自習・グループ学習に最適重要な理論・概念を
イラストで身近に

表 2-2 私の日常生活の過ごし方（ワークシート）

自分が日々の日常生活でしていること：以下の事項について、書き出してみよう

事項	金額、時間、頻度など
生 計	生活費・学費・仕送り・アルバイト
生活の管理	食料・日用品の購入・保管
	ライフライン：電気・水・ガス等
	インターネット環境
	家計
	生活時間、健康管理
食生活	家財道具、防犯、火災予防等
	食材の購入、調理、後片付け
衣類・寝具	購入、洗濯、縫い、布団干し
住 居	掃除、ごみ出し
清潔保持	入浴
家族・ペット	世話
近所等の付き合い	
その他	

私が日々の生活で大事にしていること

表 2-3 私の一日の過ごし方：平日と休日（ワークシート）

起床から就寝までの平日と休日の一日の過ごし方を書き出してみよう

時刻	平日の様子	休日の様子
7:00		
8:00		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		
18:00		
19:00		
20:00		
21:00		
22:00		
23:00		
0:00		

p.44

1 Bさんの1日

事例

① 起床

Bさんが朝に目を覚まして最初にするこは、血糖値を反映しているグルコース値の確認である。といっても採血するのではなく、体に着けたセンサーにスマートフォンを近づけて読み取るのである。

この測定方法の利点は、測定の8時間前からのグルコース値の変動のグラフがスマートフォンで見られることである。また、現在グルコース値が上昇中なのか下降中なのか、そのどちらでもないのか矢印マークで表示されることである。これは、糖分補給（以下、補食）などの対処が必要な「低血糖」の基準値である70mg/dLを少し上回る値、例えば85mg/dL程度であった際に、それが上昇中の85mg/dLであれば補食は不要、下降中の85mg/dLでかつそのあとに会議や移動があれば補食が必要と判断できる。この判断は、指先や耳朶からの血を使って血糖測定器で単一時点の血糖値しか把握できなかったかつてとは異なり、常時連続で継続的にグルコース値をモニタリングし、それを手軽なデバイスで確認できるからである。

② 朝食

Bさんは毎ただしく食事をしなが、腰につけたポンプの設定を確認する。この日の朝食の糖質量とその後の運動量がいつも通りなら設定はそのまま、違う場合はインスリンの増減が可能である。また、注射の形で一度に打つよりも、長い時間をかけて徐々インスリンを体内に入れるポンプのほうが人体の自然なインスリン分泌に近い。

③ 出勤

ポンプを確認しながら子どもの保育園の連絡帳アプリを操作し、軽く夕飯の仕込みをしたBさんは、保育園を経由して職場に向かう。子どもから繰り返し指摘を要求され「低血糖気味かもしれない」と思ったときや、途中で低血糖になるわけにはいかない大事な会議、顧客と立って続けに会う場合などには、念のためスマートフォンでグルコース値を確認する。ちなみにこのモニターは、一定の低血糖や高血糖になるとアラームや振動で知らせてくれる。Bさんの場合、低血糖は感覚的にわかることが多い。そのため、この機能によって血糖値の異常を知るのは、高血糖のときのほうが多いという。

④ 昼食

Bさんは、昼食の前にもグルコース値を確認した。この日は美食家の上司が決めたお弁当を食べながらのランチミーティングがあったため摂取糖質量が多く、かつ午後は会議の連続で全く体を動かさない見込みのため、グルコース値は正常だったものの、ポンプを操作してインスリンの追加打ちをした。しかし、結局血糖値が予想よりも高くなり、最後の会議の最中に高血糖を知らせるアラームが鳴ってしまった。

p.64

事例で具体的に
学べる

11

情報社会の発展と健康

197

社会福祉と社会保障

電子版あり

●B5判 304頁 カラー 定価3,300円（本体3,000円＋税10%）
ISBN978-4-8404-8467-1 第7版 2025年1月

本書の内容

- 一人の生活者として押さえておきたい社会福祉や社会保障の知識を収載。歴史や理念から、制度の概要、実践方法まで、オールラウンドに学ぶことができます。
- 巻頭で、「看護学生1年生」の私と家族、家族の暮らすまちに住む人々がどのような社会福祉や社会保障の制度に関わっているかをイラストを用いて紹介。制度の活用が身近に感じ、学生の興味・関心につながます。
- 法制度の改正や最新の統計データを反映するとともに、孤立・孤独の問題、こども家庭庁をはじめとする子どもに対する施策、認知症基本法など、変化の激しい社会状況への対策や課題を取り上げます。
- 患者のケースを取り上げ、障害・疾患を抱えながら社会とのつながりをもって生きるということを、具体的に知ることができます。また、実在のALS患者の現在を追いつながら、リアルなメッセージを紹介しています。

編集

増田 雅暢 増田社会保障研究所代表、東京通信大学名誉教授
島田 美喜 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠児童福祉研究所副所長

平野かよ子 宮崎県立看護大学名誉教授、湘南鎌倉医療大学特任教授

執筆（掲載順）

島田 美喜 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠児童福祉研究所副所長
＜図解 身近な生活の社会福祉や社会保障＞
平野かよ子 宮崎県立看護大学名誉教授、湘南鎌倉医療大学特任教授＜序章＞
岩崎 晋也 法政大学現代福祉学部教授＜1章＞
増田 雅暢 増田社会保障研究所代表、東京通信大学名誉教授＜2章＞
渡辺 裕美 東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科教授
＜3章1・2・3節＞
村井 祐一 田園調布学園大学副学長・人間福祉学教授＜3章4節＞
秋山 智久 福祉哲学研究所所長、元 大阪市立大学教授＜3章5節＞
佐藤 信人 コミュニティオーガニゼーション研究所所長、元 武蔵野大学教授
＜4章＞

内田 宏明 日本社会事業大学社会福祉学部福祉援助学科教授＜5章1節＞
大塚 晃 一般社団法人日本発達障害ネットワーク副理事長＜5章2節＞
内藤佳子 日本大学文理学部心理学科教授＜5章3節＞
岡部 卓 新潟医療福祉大学心理・福祉学部社会福祉学科特任教授、
東京都立大学名誉教授＜6章＞
原田啓一郎 駒澤大学法学部法律学科教授＜7章1・2節＞
石田 彦彦 金沢大学人間社会学域法学科教授＜7章3・4・5節＞
土屋 葉 愛知大学文学部人文社会学科教授＜8章1節＞
田中恵美子 日本女子大学人間社会学部社会福祉学科教授＜8章2節＞

目次

序章●なぜ看護者は社会福祉や社会保障を学ぶのか

第1章●現代社会と社会福祉

生活を支える三つのしくみ／社会福祉の役割／社会福祉の方法

第2章●社会保障の動向

社会保障とは／社会保障の歴史／社会福祉をめぐる新たな課題

第3章●社会福祉のしくみ

社会福祉サービスの体系と提供組織／社会福祉の担い手と役割／社会福祉と看護の連携／社会資源の活用方法／社会福祉実践

第4章●地域福祉の推進

地域福祉の理念と定義／地域福祉計画／地域福祉推進を支えるもの／地域共生社会への取り組み

第5章●対象別にみた社会福祉

子ども・家庭の福祉／障害児・者の福祉／高齢者の福祉

第6章●貧困に対する支援

公的扶助制度／生活保護における生活保障／生活困窮者対策と生活保護制度の見直し／その他の低所得者対策

第7章●社会保険

年金制度／医療保険制度／介護保険制度／雇用保険制度／労災保険制度

第8章●生活と福祉

地域で生活すること／事例に学ぶ：社会とのつながりをもって生きるALS患者

シラバス・
授業計画案 あり

詳細はP.132へ

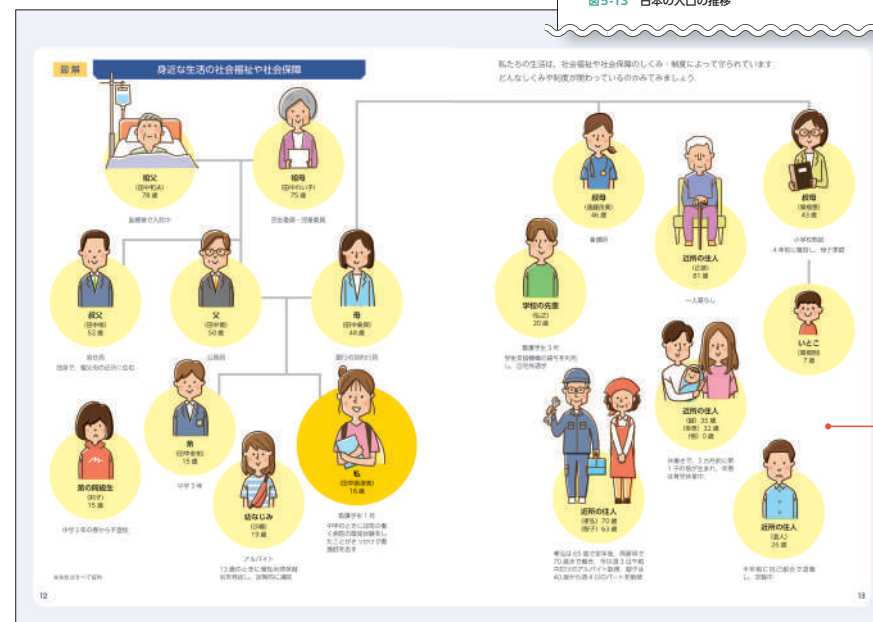
動画
19本
収録



身近な状況設定で
イメージしやすい

常に最新の情報を掲載

p.15



p.175

図解で
理解を促進

おすすめ
副読本

「これで突破！社会保障＆関係法規」 詳細はP.124へ



看護をめぐる法と制度

電子版あり

●B5判 約384頁 カラー 予価3,300円（本体3,000円＋税10%）
ISBN978-4-8404-8769-6 第7版 2026年1月

本書の内容

- 掲載する法律を厳選し、図表化や動画コンテンツの活用などにより、コンパクト化を実現。各法律のイメージイラストも多数掲載、より身近に使っていただける一冊となっています。
- 表現を徹底的に検討し、法律の解説としての正しさを保ちながらも、難解な法律用語を用いずにわかりやすく解説しています。用語解説やplusαなども充実、学びをサポートします。
- 多職種連携の時代に、看護師が他職種と法的にどのような業務連携・業務分担をするのかを理解しやすいように、資格法ごとに細やかに解説しています。
- 看護師の業務と法制度がどのように関わっているのか、一目でわかるイラストMAPを巻頭に設けました。初学者が抱きがちな疑問をまとめたQ&Aも掲載しています。
- 「トピックス」ページでは、「自殺対策基本法」「オーバードーズ」など、近年改正された法律や重要キーワードなどを短いセンテンスでまとめているので、法制度のトレンドを手軽に知ることができます。
- 第217回国会(2025年6月閉会)までの法改正を反映し、内容を更新しています。

編集

平林 勝政 國學院大学名誉教授
小西 知世 明治大学法学部教授和泉澤千恵 北九州市立大学法学部法律学科准教授
西田 幸典 神奈川工科大学健康医療科学部看護学科教授

執筆 (掲載順)

川村佐和子 東京都医学総合研究所社会健康医学センター難病ケア看護ユニット客員研究員<多職種連携時代に求められる「新しい」看護と法のテキスト>
小西 知世 明治大学法学部教授<特設、3章1節3、4章2節6、7章>
平林 勝政 國學院大学名誉教授
<1章、3章1節3・7・9・10、3章3節2、8章>
佐藤雄一郎 東京学芸大学教育学部教授
<2章、4章2節1・2、6章1節、6章2節1~4>
酒井美絵子 武蔵野大学看護学部看護学科教授
<3章1節1(序文、看護師)、5章2節15・18>
菅原 京子 長岡崇徳大学看護学部看護学科教授<3章1節1(保健師)>
岡本喜代子 公益財団法人東京助産師会館理事長<3章1節1(助産師)>
峯川 浩子 常葉大学法学部法律学科教授<3章1節2、5章2節16・17>
柴野 荘一 医療創生大学歯科衛生専門学校歯科衛生第Ⅱ学科教務主任/医療創生大学国際看護学部看護学科兼任講師
<3章1節4・14・15>
十万佐知子 武庫川女子大学薬学部講師<3章1節5、4章1節>
和泉澤千恵 北九州市立大学法学部法律学科准教授
<3章1節6・10・11・13、4章1節、4章2節7>
仙波 浩幸 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部理学療法学専攻長、教授
<3章1節8>
西田 幸典 神奈川工科大学健康医療科学部看護学科教授<3章1節12>
李 庸吉 大阪市立大学人権問題研究センター特別研究員<3章1節16>

目次

- MAP① 身の回りにある「法と制度」
- MAP② 看護師の一日と法律の関わり
- NAVIGATION “?”を解決!「法と制度」の入口
- TOPICS 知っておきたい!注目の「法と制度」キーワード
- MAP③ 看護基礎教育と本書で解説する主な法律とのゆるやかな対応
- 特設 「看護をめぐる法と制度」ナビゲーション

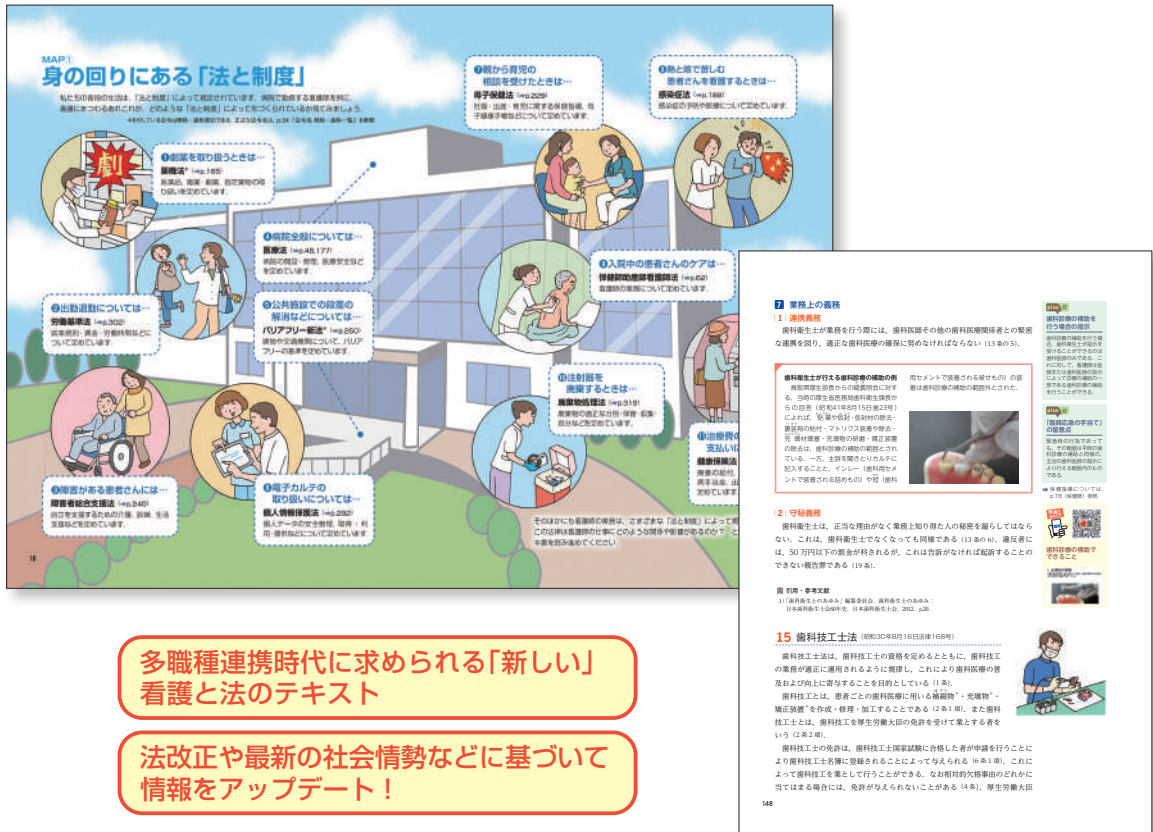
第1部●保健医療福祉と法の関わり方

第1章●チーム医療と法の構造

医療スタッフに関する法の枠組み/医療スタッフの業務分担と連携に関する法の枠組み

第2章●医療提供の理念と医療安全：医療法での扱い

医療法の歩み/医療提供の理念/医療安全/医療法の理念と実際

多職種連携時代に求められる「新しい」
看護と法のテキスト法改正や最新の社会情勢などに基づいて
情報をアップデート!

第2部●看護をめぐる法

●MAP④ 看護をめぐる法体系

第3章●人に関する法律

1 医療専門職

(保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律、医師法、歯科医師法、薬剤師法、診療放射線技師法、臨床検査技師等に関する法律、理学療法士及び作業療法士法、視能訓練士法、臨床工学士法、義肢装具士法、救急救命士法、言語聴覚士法、歯科衛生士法、歯科工学士法、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律/柔道整復師法)

2 福祉専門職

(精神保健福祉士法、社会福祉士及び介護福祉士法)

3 非医療・非福祉専門職

(栄養士法、公認心理師法)

第4章●物・場所等に関する法律

1 物に関する法律

(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、麻薬及び向精神薬取締法、あへん法/大麻草の栽培の規制に関する法律/覚醒剤取締法)

2 場所に関する法律

(医療法、高齢者住まい法、感染症法、予防接種法、墓地、埋葬等に関する法律、健康増進法、学校保健安全法)

第5章●支えるシステムに関する法律

1 お金で支えるシステムに関する法律

(健康保険法、国民健康保険法、高齢者医療確保法、介護保険法)

2 社会が支えるシステムに関する法律

(生活保護法、母体保護法、母子保健法、精神保健福祉法、心神喪失者等医療観察法、障害者基本法、障害者総合支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、発達障害者支援法、児童福祉法、児童虐待防止法、母子及び父子並びに寡婦福祉法、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律、DV防止法、老人福祉法、高齢者虐待防止法、難病医療法)

第3部●看護をめぐる政策

●MAP⑤ 政策に関わる基本法等の関連法令

第6章●政策に関わる基本法等の関連法令

1 医療政策に関する法律

(社会保障制度改革推進法、社会保障改革プログラム法、地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律、地域保健法、がん対策基本法、がん登録推進法、循環器病対策基本法、肝炎対策基本法、食育基本法、アレルギー疾患対策基本法、アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法)

2 今日的な支え合い政策に関する法律

(自殺対策基本法、成育基本法、こども基本法、認定こども園法/子ども・子育て支援法、認知症基本法、成年後見制度の利用の促進に関する法律、任意後見契約に関する法律)

3 災害政策に関する法律

(災害対策基本法、災害救助法)

4 情報政策に関する法律

(個人情報保護法、次世代医療基盤法)

5 食品安全政策に関する法律

(食品衛生法、食品安全基本法、食品表示法)

6 少子高齢政策に関する法律

(高齢社会対策基本法、少子化社会対策基本法、次世代育成支援対策推進法)

7 労働政策に関する法律

(労働基準法、労働契約法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、過労死等防止対策推進法、雇用保険法)

8 ジェンダー政策に関する法律

(男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法)

9 環境政策に関する法律

(環境基本法、公害健康被害の補償等に関する法律、廃棄物処理法、環境衛生に関する営業・建物の衛生分野)

第4部●法制度を取り巻く考え方

第7章●インフォームドコンセント

IC/意思決定支援/ICと意思決定支援/ICと意思決定支援のこれから

第8章●看護過誤 (医療過誤)

医療事故と医療過誤/三つの法的責任

第9章●法と生命倫理

生命倫理総論/生命倫理各論/研究倫理

2025年10月現在の情報です。目次等は予告なく変更場合があります。ご了承ください。